

# 事務事業チェックシート

事務事業No 636 事業名 少年センター事業（街頭補導、相談、環境改善など）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	4	安全・安心な教育環境の整備
施策	1	安全・安心な教育環境の整備
取組方針	1	子供たちの安全の確保

事業種別	継続	
事業期間	H21 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市次世代育成支援行動計画	
担当課・担当課長 (Tel)	少年センター	神谷 禎之 (425-2351)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		補導事業費	
	大事業		補導事業	
	事項		少年センター事業、補導事業	

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	青少年を非行から守ることを目的として、少年非行の原因を探り、それを除去して本来の姿に立ち直らせるように努める。そのため県・市・学校・警察・和歌山市少年補導委員会等、各関係機関の協力を得て非行防止の活動に努めている。	青少年非行の早期発見・早期補導及び少年相談 1. 街頭補導活動 2. 啓発活動 3. 青少年非行に係る相談事務 4. 各関係機関、団体等との連絡・調整・連携 5. 環境浄化活動 6. 調査研究活動				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		補導活動 相談活動 健全育成啓発活動並びに連携活動 事務所移転作業	補導活動 相談活動 健全育成啓発活動並びに連携活動	補導活動 相談活動 健全育成啓発活動並びに連携活動	補導活動 相談活動 健全育成啓発活動並びに連携活動	補導活動 相談活動 健全育成啓発活動並びに連携活動

### 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,007	10,612	6,810	6,216	6,668	6,349	6,514		6,514	
伸び率 (%)	-	-	▲43.3%	▲41.4%	▲2.1%	2.1%	▲2.3%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	19,692	19,277	19,277	20,267	20,267	20,942	21,276		21,276
	正規職員以外	3,913	4,431	4,431	5,002	5,002	5,048	5,305		5,305
小計	23,605	23,708	23,708	25,269	25,269	25,990	26,581		26,581	
国庫支出金										
県支出金	158	158	158	158	158	158	155		155	
市債										
その他	20	19	19	19	19	15	15		15	
一般財源（税等）	11,829	10,435	6,633	6,039	6,491	6,176	6,344		6,344	
所要人数（人）	正規職員	2.59	2.59	2.59	2.66	2.66	2.63	2.68		2.68
	正規職員以外	1.86	2.10	2.10	2.29	2.29	2.29	2.39		2.39
主な予算内訳	建物借上料 3,216千円、駐車場使用料 836千円、管理委託料 147千円、自動車用燃料費 203千円、機械等借上料 150千円等									

### 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	街頭見回りの実施回数	回	150	153	102.0%	150	150
		回	150	149	99.3%	150	136
		回	150	146	97.3%	150	181
活動指標	相談活動（青少年の悩みや問題行動）	回	150	146	97.3%	150	150
		回	150	177	118.0%	150	181
		回	150	181	120.7%	150	150
成果指標	小学生問題行動	回	85	258		222	
		回	85	258		222	
		回	85	258		222	
成果指標	中高生問題行動	回	2,061	1,692		1,593	
		回	2,061	1,692		1,593	
		回	2,061	1,692		1,593	

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>補導活動、少年相談、広報活動、環境浄化活動等を学校・警察・少年補導委員会や関係団体との連携を図りながら積極的に取り組んでいる。</p>
見直し・改善内容	<p>不審者発生時における青パトの充実                      小中高等学校における「情報モラル教室」等の充実                      関係機関との情報共有ネットワーク構築のさらなる推進                      街頭補導時の関係機関との連携強化</p>